

職場の両立支援をサポートする 院内コーディネーターの役割

前号では「職場全体で次世代を育む」と題し、職員の働き方と職場のサポートを特集しました。

では、サポートを必要としている人や場所に対する確かな支援を届けるにはどのようにしたらよいのでしょうか？

今期、女性医師支援事業において普及を目指している「院内コーディネーター」の配置は、院内で取り組む両立支援策のメッセンジャーであり、子育て中の職員のサポーターでもあります。院内コーディネーターがいることによってどのような効果が見込めるのか？子どもの急病時の対応を例に解説しました。



女性医師

(朝)子どもの急病



今日は朝から外来の予約がいっぱい！
代理をお願いする先生もいない！夫も休めない！
みんなに迷惑をかけてしまうのでは
ないかと心配

シッター会社またはファミサポに連絡

子どもと一緒に家を出る

勤務先に到着

シッター・サポーターに保育を依頼
同時に院内コーディネーターに引き継ぎ

診療業務開始

合間に子どもの様子を確認

ありがとう

業務終了

どういたしまして

子どもと一緒に帰宅

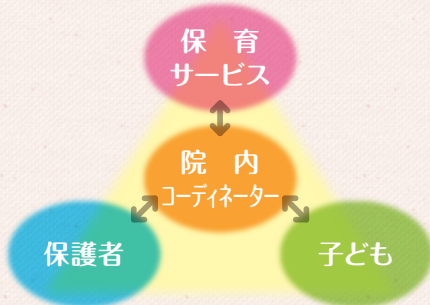


コーディネーターの役割(参考)

- ・院内の小児科受診可能であれば予約手続きの補助
- ・院外の保育サービスとの連携
- ・医師が依頼したシッター・サポーターの到着が業務開始時間に合わない時は一時的に保育補助
- ・**院内の保育スペース(※1)**を利用する場合はその手配
- ・子どもの症状の変化に応じた他部門・他職種との連絡対応
- ・学校や園で体調不良になり呼び出しがあった場合もシッターやサポーターと連携して親子をサポート
- ・その他、院内環境によって独自の取り組みが可能

※1 院内の空きスペースを子ども室等に改装し、急な依頼の時にシッターやサポーターが到着するまで一時的に預かったり、そのままシッティングルームとして活用できる。整備費用は「働きやすい職場づくり事業補助金」(茨城県)の対象です。

院内にコーディネーターがいることによって
安定した両立支援の提供が期待できる



さらに

支援によって見込める「安心、効果」

- 子ども → みんなで育てる
- 患者さん → いつもの先生に診てもらえる
- チームのスタッフ → 予定外の勤務シフト変更等、長時間労働の負担を防げる
- 子育て中の医師 → 子育て中のアクシデントによる心理的負担が軽減され、診療に専念することができる

次号予告 コーディネーター業務は大変？誰がやるの？

ご相談・お問い合わせはこちらから

女性医師就業支援相談窓口ホームページ

<http://www.ibaraki.med.or.jp/women/>

茨城県医師会 女性医師就業支援相談窓口

☎ 029-241-7467 📠 0120-107-467

📠 029-241-7468 ✉ i-dr.support@au.wakwak.com

